

のびっこハウス

令和4年度事業者向け児童発達支援評価表

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	81%	19%		利用人数に合わせてスペースを活用しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	90%	10%		個々により、障害特性や、発達年齢が違うため、手厚い療育が必要です。そのため、職員配置は規定より多くしています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	90%	10%		障害特性に応じ、構造化し、特に視覚の他、聴覚や触覚など、五感での情報の伝達がそれぞれの児童に合わせて配慮し、支援しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	90%	10%		感染症マニュアルや安全マニュアルをもとに、清潔を保ち、心地よく活動できるようにしています。
業務 改善	5 業務改善を進めるためにP D C Aサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	73%	27%		勤務時間がそれぞれ違うため、職員一同で、目標設定を振り返ることが難しいですが、正規職員では定期的に会議をして業務改善しています。短時間で出勤する職員にはその都度伝えていきます。今後更に広く職員が参画できるようにしていきたいです。
	6 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			ご家族の意向が把握しやすくなりました。のびっこハウス施設内や、ホームページに公表しています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			昨年度の結果を踏まえ、親子遠足や保護者会を企画していましたが、コロナ禍のために達成できませんでした。令和4年度は感染症予防に配慮しながら新しい生活様式で実施できるようにしていきたいと思います。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	55%	27%	18%	毎月、理事会で外部の方に活動報告をしています。今後第三者より評価結果をいただけるようにして更なる業務改善につなげていけるようにしたいと思います。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			内部研修は全職員が月一回、外部研修は、実技も含め機会を確保しています。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	10	100%			個別面談、モニタリングを定期的に行い、ニーズをくみ取り、課題を客観的に分析し、目標を定め、児童発達支援計画を作成しています。
	11	100%			一年に一回、または変化のあった時に、標準化されたツールにてアセスメントをし、適応行動の状況を把握しています。
	12	100%			御家族のニーズを汲み取り、担当者会議、個別面談、または事業所内相談支援の中で、支援の検討をして、本人、家族、地域支援の中で必要な項目を設定して支援しています。
	13	100%			職員一同で支援を共有しながら、計画に沿った支援をしています。
	14	73%	27%		主に、正規職員で担当を決め、活動プログラムを立案しています。施設合同の行事などは、施設内チームで立案しています。
	15	100%			のびっこ療育マニュアルをもとにして、個別や集団、季節の行事、施設内外の行事など様々な人との触れ合いが出来るように柔軟にプログラムを立てて実施しています。
16	100%			子どもの状況に応じて、個別計画と集団行動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しています。	
適切な支援の提供	17	73%	27%		正規職員は開始前に集会をし、打ち合わせをしています。勤務時間が違う職員については、職員の連絡ノートや、計画書など書面にて一日の保育計画や役割を確認しています。また、子ども達と一緒にやる朝の会でも確認をしています。
	18	90%	10%		主に、午睡時か、支援が終了したときに振り返りをしています。また、書面にて情報共有をしています。
	19	100%			支援計画の目標ごとに記録をとり、定期的に、また変化の合った時に検証し、支援の改善をしています。
	20	100%			定期的に、また成長の変化の合った時にモニタリングをし、新たな支援計画を見直しています。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			児童発達支援管理責任者が参画しています。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%			モニタリング時、担当者会議時、また必要な時にその都度、保健所、行政、医療、併用の子ども園など関係機関と情報交換をしたり、助言をいただいています。
	23 (医療的ケアの必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	100%			居宅訪問型児童発達支援では医療、福祉、教育機関などすべての連携機関と繋がり、連携した支援を行っています。
	24 (医療的ケアの必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか	100%			居宅訪問型児童発達支援では医療機関、主治医と連絡体制をとり主には親御さんから助言をいただいています。
	25 移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%			移行時期には親御さんの承諾を得てから、保育園、幼稚園、子ども園等、支援等の情報共有をして相互理解を図っています。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%			移行時期には親御さんの承諾を得てから、特別支援学校、支援級等と情報共有をして相互理解を図っています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	90%	10%		主には併用している事業所と連携をとり、相談をしたり、会議をして助言をいただいています。また、発達障害者センターなどの研修の機会もつくっています。
	28 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%			日常的に併設の託児ルームの子ども達と交流しています。また、近隣の公園や公共施設、地域のお祭りなどでも障害のない子ども達と活動する機会を設けております。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	90%	10%		必要な時に児童発達支援管理責任者が参加しています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			保護者との連絡帳、送迎時、また面談時他、必要な時に発達の課題について共通理解しています。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	64%	36%		コロナ禍のため、個別に相談や面談、また今年は参観などの機会を設けて、子育ての力が向上するように支援を行いました。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時、または更新時、利用者負担が変更した時などに説明させていただいています。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%			個別面談や担当者会議にて、個別支援計画の内容説明を行い、保護者に同意を得ています。
	34 定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			定期的に、また相談がある時に随時、助言を行って支援しています。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10%	72%	18%	昨年度に引き続き、コロナ禍のため、保護者会が実施できませんでした。今後の状況を見て保護者同士の連携を支援していきたいと思えます。
	36 子どもの保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			相談援助などは施設内や居宅にて、また電話やメールなどいつでもお受けできるように窓口を設置して、迅速かつ適切に対応させていただいています。
	37 定期的に会報等を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			活き生きネットワーク全体で定期的に会報を出したり、お便り、ブログなどで情報を発信しています。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%			特に、外部からの訪問者などがいる場合は個人情報漏れないように注意をしています。
	39 障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			主には送迎時にその日の様子を口頭や連絡帳でお伝えしています。また、必要な時に面談や相談をするなどの機会をつくり情報共有しています。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	100%			団体全体の交流会を季節ごとに行ったり、事業所のバザーなど行っています。また、ボランティアや実習生なども随時受付しております。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%			事業所において緊急、防犯、感染症対応マニュアルを策定し、書面で周知していただくと共に、防災訓練は毎月実施しています。来年度は不審者訓練など計画したいと思います。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			法人全体で年2回、事業所では毎月避難訓練を行っています。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%			親御さんと連携し、服薬や予防接種、癲癇などの時の対応について確認しています。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			対象者がいましたら、医師の指示所に基づく対応をします。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			定期的にヒヤリハット集を作成し事業所内で共有しています。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			各職員が、虐待防止の研修に参加する機会を設け、対応について検討しています。また、標準化された虐待防止チェックリストを使用して日々注意をしています。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	64%	36%		身体拘束が必要な児童がいた場合には組織的に決定し、事前の説明をしたうえで児童発達支援計画に記載することを契約時にお伝えしていますが、現在は対象者がいません。